

# 新潟県立長岡聾学校

## きこえ通信

令和5年度 第7号

当校 HP にも掲載中!  
⇒R4~の通級便り、  
R5.4~のきこえ通信

新潟県立長岡聾学校通級指導教室  
〒940-0093 長岡市水道町2-1-13  
Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)  
\*18:00頃までお願いいたします。メールもご利用ください。  
FAX 0258-39-5665  
e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp  
発行：令和5年11月

# 自分の聞こえをどう説明するか？

難聴がある人によっては、積極的に自分の聞こえのことを話す場合もありますが、あまり知られたくない、黙っている、と言う人もいます。

標記の取り組みを、中3生徒に対して行っています。小中学校は、知っている友達も多く、保護者の方と学校の先生方との連携で、安心して過ごせることが多いと思います。ところが、高校や大学等、就職先となると、知っている人も少なくなります。年齢的にも大人になることから、少しずつ、自分の聞こえや支援してほしいこと、理解してほしいことを、自分で伝えていくが増えると思います。その時に、どのようなことを他の人から聞かれそうか、どう答えると良いか、参考資料をもとに、右のようなプリントを使用して学習しています。最終的には「きこえのトリセツ」というパンフレットを作成し、それを活用して入学した高校で説明した生徒もいます。

今までの取り組みで生徒は「全部分かるわけではない。」、「小さい声や音は分からないこともある。」、「遠くから言われると分からないことがある。」などと書いていました。また、学習後の感想としては、「きちんと説明しようと思った。」、「自分が伝えにくいと友達が代わりに言ってくれたが、高校では自分で伝えられるようにしようと思った。」などがありました。前回のきこえ通信の「高校入試の特別措置」とも関わりますが、自分はどんなことが苦手で、どう助けてほしいかを伝えられるようになってほしいと思います。今すぐに、100%できる必要はありません。少しずつで良いと思います。加えて、お礼もきちんと言うと、次回も気持ちよく協力してくれると思います。



耳に掛けて  
いるの、何？

補聴器と言って、  
音や声を大きくし  
てくれる機械よ。

それをつけると、  
人の話は全部  
分かるの？

あなたが  
この生徒なら、  
どう説明  
しますか？

「聴覚障害教育  
これまでとこれから」より  
(脇中起余子：北大路書房)

耳や聞こえに  
影響がある  
場合も…

## 風邪に注意！！



最近、風邪がはやっています。風邪を引くと鼻をかむ回数が増えます。そのため、耳と鼻をつないでいる耳管の周りで炎症を起こし、鼓膜が中に引き込まれてしまいます。その結果、耳管狭窄症や滲出性中耳炎と診断される場合があります。耳管狭窄症はトンネルの中のような聞こえ方になることがあり、滲出性中耳炎は伝音性難聴の原因の第1位と言われています。また、突発性難聴の原因の1つとしてウイルス感染があげられています。風邪などの感染症にかからないように手洗いとうがいの励行、栄養や睡眠を十分とる、かかったら早めの治療をお願いいたします。\*西馬込あくつ耳鼻咽喉科、たまき耳鼻咽喉科、日本橋大河原クリニック、レイクタウンたけのこ耳鼻咽喉科 HP 参照

# 難聴がある人の職業について

Q 難聴があると、できない職業があるのでしょうか？

A 以前はそうでしたが、現在は法改正でそのようなことはありません。でも本人、周囲ともに理解、配慮、工夫、努力は必要です。

いろいろな職業についておられる方で、メディアなどに情報がある方を5名紹介します。

- 1 松山赤十字病院で耳鼻科医師として勤務する、狩野拓也さん。ご本人は人工内耳を装着する程の聴力です。先生や家族に反対されながらも、「誰かの役に立ちたい」と医師を志し、猛勉強の末、高知大学医学部に現役合格しました。聞き取りにくさの克服を次のように話しています。「言葉をたくさん知ると、言葉を聞き取れたり(全部聞き取れなくても)聞き取れた部分から推測して話の要点をつかんだりできる。知らない言葉は聞き取れない。だからすごく知識は大事！知識は勉強で身につける。勉強した内容が身につけていなければ、その後はさらに分からなくなる。特に予習(授業の前に教科書を読むなど)が大事。」



NHK「ろうを生きる 難聴を生きる」より

- 2 京都府聴覚言語障害センターで言語聴覚士として勤務する、乾恵梨さん。小さい時から支えてもらった言語聴覚士(ST)をめざし、夢を実現させました。小・中学生の頃は自分の難聴を隠したい気持ちもありましたが、大学では学びやすいようにロジャー(補聴援助システムマイク)を申請しました。使い方についても先生方に丁寧にお願いしました。また、担当の先生と相談してノートテイク(授業のノートを書いてもらうボランティア)の制度を作ってもらいました。病院の実習ではマスクを外してもらったり、ロジャーやUDトーク(音声変換アプリ)を使用してもらったりしました。病院での情報保障を考えてもらうようになったそうです。ご自身も手帳取得の経験から「自分だからできること」を考えたいとのことでした。



KIKOELIFE HPより

- 3 早瀬憲太郎さん(NHK「みんなの手話」出演、映画監督など)、早瀬久美さん(難聴のある人で最初の薬剤師)のご夫婦です。お仕事の他に、デフリンピック(ろう者のオリンピック ちなみに 2025年に日本で開催されます!)の自転車競技に出場されています。YouTubeより
- 4 中日、横浜、日本ハムと活躍した野球選手の石井裕也さん。優れた瞬間視をもち、マウンド上で三振を奪う姿は「サイレントK」と話題になりました。Wikipediaより



\*当校も難聴のある先生が勤務しています。難聴のある人は会社員、銀行員など様々な職業についています。

## 手帳をもつ生徒の就職について

当校へは、手帳をもつ生徒に向けた就職の案内が来ます。それについて地域の高校に通う、難聴の手帳をもつ生徒や保護者の方からの相談もあり、情報提供しています。難聴があっても「配慮はするが特別扱いはしない。他の人と同じように働くこと」が求められています。高1、高2を対象とした「インターン制度」もあります。条件を見ると、「最寄り駅などから自分で公共の交通機関を使って来ること。身の回りのことは自分でできること、言われた仕事ができること、周囲の人とコミュニケーションができること」などがあります。手帳のあるなしにかかわらず、自立のための習慣は短期間では身につけにくい場合があり、卒業間近になって慌てるよりは、もっと小さいうちから少しずつ身につける必要があると思います。また、「～ができない」、「～してほしい」ばかりでなく、「代わりに何ができるか」(例：電話はできないがメールはできるなど)をきちんと伝えることも大切です。子どもたちが自信をもって進路実現できるように、応援していきましょう。